

自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの特徴を踏 まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者 等の在宅生活の継続」と「心身の機 能の維持回復」を実現するため、事 業所独自の理念を掲げている	○				事業所理念として 「あなたらしさを大切に、笑顔で安 心した生活が送れるようにお手伝 いします。私たちは、質の高い サービス提供に努め、地域福祉 に貢献します。」と掲げ、職員会 議で唱和し、目に触れる場所に 掲示している。	事業所独自の理念を掲げ、職 員で唱和し、実行していること は素晴らしいと思います。引き 続き取り組んでください。
(2) 適正な人材の育成									
①	専門技術の向上のた めの取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特 徴および事業所の理念につい て、その内容を十分に認識している	○				サービス提供の特徴と理念に ついて、継続して定期的な研 修等にて学ぶ機会や確認を行 う機会を持って取り組んでい る。	引き続き取り組んでください。
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、 随時対応時のオペレーターの判断 能力など)の向上のため、職員を育 成するための具体的な仕組みの構 築や、法人内外の研修を受ける機 会等を確保している		○			勉強会や研修会は毎月テーマを 定め取組んでいる。コロナ感染予 防の為参加機会が少なかったが 今年度はオンライン研修も含め社 会福祉センターの主催する研修 を中心に法人外の研修を受ける 機会を設けて取り組んでいる。	オンライン研修を含め、外部の 研修に参加したり、内部でも毎 月テーマを決めて実施できて いると思います。引き続き取り 組んでください。包括でも研修 を実施していますので、活用し てください。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]									
(2) 適正な人材の育成									
①	専門技術の向上のための取り組み	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	○				職員の実務年数や能力、利用者の状態などを考慮し勤務配置を行っている。	引き続き取り組んでください。
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	○				訪問看護事業所との一体型の特性を生かし、常に相互関係で報告・連絡・相談が行える環境となっている。 都度必要に応じて検討を行い理解や認識の共有を図っている。	引き続き取り組んでください。
(3) 適切な組織体制の構築									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○			サービス利用が多い時間帯に人員配置を厚くするなどの対応を柔軟に行っている。また、24時間随時対応を行える体制も整えている。	24時間随時対応が可能なことにより、利用者の状況に応じて適切なケアマネジメントが可能となっていると思います。
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			6ヶ月に1回、介護・医療連携推進会議を開催している。 推進委員の方より地域の情報やご意見を頂き、サービス提供へ反映させられるよう対応を行っている。	コロナが5類に引き下げられることもあり、今後は自治会長や民生委員など地域の方からも参加いただいての会議の開催をお願いします。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]									
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				日々の申し送りに加え、PCシステム及びタブレット端末により利用者の情報や状態、訪問状況等の確認を行うことができ共有している。	引き続き取り組んでください。
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)		○			外部への訪問については、車両運行規程に則り安全運転を心がけ、事故なく経過している。災害・防災訓練は年に2回計画し、関連事業所と協力して実施している。また、衛生推進者を配置し、職員の安全確保に努めている。	引き続き取り組んでください。
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている		○			個人情報の利用の範囲については、利用者・身元保証人の同意を得て利用している。個人情報保護マニュアルの共有と、法令遵守規程の承認により、個人情報の適正な取り扱いと保護に努めている。個人情報・法令遵守について、年1回研修を実施している。	引き続き取り組んでください。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			利用者様の状態やこれまでの生活歴等を加味し、ご本人とご家族の気持ちに配慮した提案をおこなっている。状態変化や状況に応じても随時提案を行っている。	引き続き取り組んでください。
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	○				日常的な手助けの必要性と、体調面の管理や医療処置など、看護からの情報提供と相談を行うなどの協力関係を構築している。定期的に情報シートの再評価と更新を介護・看護ともに実施している。	施設内だけでなく、医療機関とも連携をとり、適切に対応できていると思います。
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			自立支援の精神を根本とした計画作成を行っている。	担当のケアマネジャーとも情報共有しながら、引き続き取り組んでください。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			居宅計画書に沿って、今後の変化を予測し、日々の様子観察や主治医や各機関と連携を図って行くように、サービス内容に取り入れながら計画の作成を実施している。	引き続き、ケアマネジャーと連携しながら計画作成に取り組んでください。
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				担当者会議時点で、体調や受診外出等で日程変更があった際には予定を変更しながら随時対応を実施する事を説明しており、状況に応じて柔軟に提供日時を変更しながら対応を行っている。	引き続き取り組んでください。
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			サービス提供を通じて利用者様の状況確認を実施しながら把握に努めており、計画書への反映も実施している。	引き続き取り組んでください。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている		○			サービス実施前に、介護職・看護職にて相談を実施し、連携を図りながら内容によって役割分担を行いながらサービス提供を実施している。(入所判定会議・サービス担当者会議等)	実施事業の特性を活かし、引き続き取り組んでください。
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	○				日々の申し送りや、利用者様の状態に応じて体調の変化、夜間の連絡体制等についても看護職より指示・指導を行っている。また共有の情報ツールを使用して指示・指導、助言等も実施している。	医療依存度の高い方や看取りの方も看護職、介護職で情報共有して対応できていると思います。
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			サービス開始前の契約の際に、書面と口頭にて説明を実施し、同意を得て契約を行っている。	引き続き取り組んでください。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価 (Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			サービス担当者会議にて目標及びその内容について確認を実施し、尚且つ計画書を提示して、説明を行い同意を得て交付している。	引き続き取り組んでください。
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている		○			その都度、状況や変化について連絡を実施したり、面会時に情報提供を行い、相談も実施している。	引き続き取り組んでください。
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている		○			その都度、状況や変化について担当ケアマネジャーに連絡を行い、必要に応じてサービス提供日時等についての相談を実施しながら対応を行っている。	ケアマネジャーと連携が取れていると思います。
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている				○	有料老人ホームの中でのサービス提供が中心となっており、今年度も感染予防もありインフォーマルサービスの活用等ができていない現状である。継続した課題であり、検討を行っていく。	コロナが2類から5類へ引き下げられることもあり、地域のフォーマル・インフォーマルサービスも今後は活用してみてください。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○				サービス担当者会議や月1回の状況報告を行いながら対応を実施しており、また会議内での決定事項や内容については申し送り等を活用して多職種への情報提供を行っている。	毎月の状況報告は、家族や担当ケアマネジャーも安心でき、良いことだと思います。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)				○	現在は対象となり得るサービスがない為実施していないが、今後必要に応じて対応を実施していく。	市のホームページに掲載してある社会資源ファイルを見ていただき、活用できるサービスなどないか、検討してみてください。
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)				○	出来るだけ切れ目のないサービス提供を行う事が出来る様に事前に居宅ケアマネジャーや病院と連絡、連携を図ったり担当者会議に参加して検討や情報の共有を図っている。コロナ禍においてはちょうかいネットの活用や事前にサマリーを頂くなどの対応を実施している。	様々な手段を活用し、情報共有できていると思います。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)		○			事業を通し、介護・看護・ケアマネジャー・理学療法士が共同してサポートする体制は整えている。ケースによっては役割や連携方策を検討していく事が可能である。	困難ケースなど、既存のサポート体制だけでは対応できないときは、市や地域包括支援センターに相談してください。
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○				市高齢者支援課への速やかな提出と事業所内への掲示を行い、誰でも見ることのできるように対応を行っている。	左記の通り、実施されています。
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			ホームページ上の情報を更新を行い、市高齢者支援課、地域包括センター、居宅介護支援事業所にパンフレットを配布している。	左記の通り、実施されています。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
II 過程評価(Process)									
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			地域包括ケアシステムの構築に向けた市の取組に対して、当事業所が協力できる介護・看護等についてはできる限りの支援を行っていく方針としている。	左記の通り、実施されています。
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている		○			施設入所者へのサービスが中心となっているが現在2名の外部訪問を実施しており、相談や問い合わせも少ずつ頂けており、今後も積極的に地域へ展開していきたい。	今後、外部訪問への対応を増やしていただけるような体制整備を期待します。
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている <u>(※任意評価項目)</u>			○		地区の医師会で取組んでいる在宅医療・介護連携室ポンテとの連携など、地域で安心して暮らせるまちづくりに積極的な協力を行っていきたい。	左記の通り、ポンテ等との連携を推進し、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制構築に努めていただきたいと思います。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
Ⅲ 結果評価(Outcome)									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			居宅の計画書に沿って、サービス提供を実施し、目標達成に向けて対応を実施している。サービス提供を行う事で目標を達成し、また状態を維持する事ができていると思われる。	利用者家族からは満足度の高い感想が聞かれています。
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○			定期訪問に加え、訪問看護や随時対応と随時訪問も対応できることは、利用者の安心感につながっている。また、併設施設の長期入所・短期宿泊利用も必要な場合に利用できることも安心の一つとなっている。	引き続き取り組んでください。